

教育研究上の目的

食品開発学科では、食の安全・安心と機能性、食のおいしさ、食の開発、食のビジネスの知識を基盤として備え、さらに、【健幸】の支援に寄与することを目指して新たな食品を創造し開発できる人材の養成を教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

食品開発学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 食品学、食品分析学、食品加工学など食のおいしさ・食品開発の基盤となる領域に関する専門的知識を備えている
2. 食品に関する化学や生物学などの基礎的知識を修得した上で、食の安全や安心確保のためのリスク分析、おいしさの分析や評価、食品の機能性に関する分析の専門的知識と技術を備えている
3. 人々の健康で幸福な生活【健幸】を支援するという視点から、様々なニーズに応える食品の開発と食サービスを社会に還元する意欲を備えている
4. 専門科目における学修を通して、科学的根拠に立脚した判断力、健康の保持増進に寄与する行動力、食品を創造し、開発する能力を備えている

そのうえで、次の資質及び能力を有している者に「学士（食品学）」の学位を授与する。

①知識・技能

1. 食に関わる基礎的知識と食のおいしさ、開発、安全・安心、機能性、ビジネスに関する専門的知識を身につけている
2. 食品のおいしさの分析や評価、食品の加工技術、食の安全や安心確保のためのリスク分析、食品の機能性に関する分析の技術を修得している
3. 加工食品を製造、販売し、その情報を発信する実践力を有している
4. 食品を創造するための開発研究を推進する能力を有している
5. 食品を創造し、開発するために必要な情報収集能力、語学力を身につけている

②思考力・判断力・表現力

1. 科学的根拠に立脚し、論理的に思考、判断できる能力を有している
2. 食に関わるさまざまな問題について、多面的に考え、判断する能力を有している
3. 食の専門家として、論理的でわかりやすい文章作成能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を有している

③主体性・多様性・協働性

1. 食に関わるさまざまな課題に関心を持ち、自主的、継続的に学修する意欲と態度を有している
2. 食の専門家としての倫理観、責任感を身につけている
3. 食の専門家として、新たな食品の開発や食サービスを通して社会に貢献する意欲を備えている

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

食品開発学科では、食に関わる基礎的知識、おいしさ、開発、安全・安心、機能性、ビジネスに関する専門的知識を備えた人材を養成する、さらに、高度な食品開発研究を推進するとともに、農業体験、カフェ実習、インターンシップに参画するととも

に、卒業研究を通して高度な専門性を活用した課題解決能力を育成する。

これらの学修により、多様なニーズに応えることができる食品開発の専門性を修得させることが本学科の特色である。これらを実現するための教育課程の編成方針は次の通りである。

各領域の学修過程は、次の通りとする。

「食のおいしさ」区分

1. 食品開発に必要な調理や食品加工の基礎を修得する
2. 食のおいしさを科学的に分析するための知識と技術を修得する
3. おいしさについてより実践的に学び、高度な知識と技術を修得する

「食の開発」区分

1. 食の開発についての方途を具体的に修得する
2. 地域連携による食の開発を実践する
3. プレゼンテーション能力を修得し、実践力を向上させる

「食の科学」区分

1. 食品開発の基礎となる科目を配置し、科学的思考力を修得する
2. 専門性の高い知識習得も行う

「食の安全・安心と機能性」区分

1. 食や食品開発に関わる法的根拠、ならびに知的財産に関連することがらを学ぶ
2. 食の安全・安心と機能性に関する基礎的な知識と技術を習得する
3. 高度な演習・実験・実習を行い、専門性の高い知識と技術を修得する

「食のビジネス」区分

1. 食品開発のプロセスや成果を国際的に発信する能力や、食品開発にかかる研究領域において活躍できる能力を修得する
2. 実践的な高度な能力を修得する

演習「食品開発学演習」区分

1. 科学的議論を通して、研究やプレゼンテーション能力を養うための知識・技術・実践力を修得する
2. 思考力や応用力、専門的な知識や技能を深め、PDCAの全ステップを遂行する方途を修得する
3. 自ら設定した課題について、科学的な手法を用いて分析を行い、客観的かつ論理的に表現する方途を修得する

卒業研究

1. 科学的議論を通して、研究やプレゼンテーション能力を養う
2. 思考力や応用力、専門的な知識や技能を深め、PDCAの全ステップを遂行する
3. 自ら設定した課題について、科学的な手法を用いて分析を行い、客観的かつ論理的に表現する能力を養う

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

食品開発学科では、次のような学生を求める。

1. 食のおいしさ、開発、安全・安心、機能性、ビジネスに関して興味・関心があり、主体的、継続的に知識や技術を学ぶ意欲がある
2. 食品を創造するための開発研究に強い興味・関心がある
3. 将来、食のスペシャリストとして、新しい食品の創造・開発や食サービスを通して、社会に貢献する意欲がある

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 高等学校卒業レベルの基礎学力を有している
2. 食の科学を学ぶために必要な生物や化学の基礎的な知識を有している

②思考力・判断力・表現力

1. 多面的で論理的な思考力を有している
2. 倫理観が高く、責任ある行動や発言をすることができる
3. 自分の考えや取り組みの成果等を論理的に表現し、他者に伝えることができる

③主体性・多様性・協働性

1. 向上心を持ち、自主的、継続的に学修に取り組む意欲を有している
2. 自ら考え、積極的に行動することができる
3. コミュニケーション能力を有し、他者との協同作業を円滑に行うことができる